

ライオンとねずみ

ライオンとねずみ

(イソップのお話)

ライオンがねむっているのと、小さなねずみが体の上をかけまわりました。

目をさましたライオンは、ねずみをつかまえました。
「どうか、にがしてください。いつか、きっとおれいをします。」

ライオンはわらって、ねずみをにがしてやりました。
何日かたって、ライオンはかりゅうどのあみにかかってしまいました。いくらもがいても、あみはやぶれません。
そこへ、あのねずみがやってきました。ねずみは小さな歯^はで、あみをかじってやぶり、ライオンをたすけました。

1 ねむっているライオンの上をかけまわったのは、だれですか。

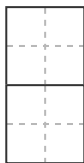
ア うさぎ

イ ねずみ

ウ りす

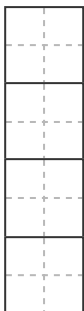
2 ライオンは、何にかかってしまいましたか。

かりゅうどの



3 ねずみは、どうやってあみをやぶりましたか。

あみを



やぶった。

4 ねずみがライオンをたすけたのは、どうしてでしょう。

ア ライオンが、まえににがしてくれたから。

イ ライオンに、たのまれたから。

ウ あみが、おいしそうだったから。